

近畿分科会事務局提案事業

【趣旨】2025年大阪関西万博開催により多くの来関者が予想される。今般、大阪関西の玄関口の一つである関西国際空港を舞台に、移動手段である公共交通のバリアフリーに焦点を置き、各事業者が「学び」「体験」を通じ業界の枠を超えて新たな気づきとする機会、更には障害者との相互理解を図る機会とし安心安全な共生社会実現に向けた取り組みの一環とする。

1. 主催：近畿運輸局、近畿地方整備局、大阪航空局、神戸運輸監理部
2. 参加事業者 関空乗り入れ又は拠点を置く交通事業者（鉄道・タクシー・バス・船・航空各事業者）及び 施設設置管理者（関西エアポート）
3. 協力：移動等円滑化評価会議 近畿分科会 障害当事者を中心とした委員他
4. 内容：【第1弾】9月9日（金）／13時30分～16時40分／大阪合同庁舎内 会議室



【学び】〔事業者における参加対象⇒現業に精通されている方2名（内1名は管理職クラス）〕

- ・国のバリアフリー施策/障害者差別解消法に関する講義・・・計20分
⇒対象：交通事業者、関西エアポート
- ・施設設置管理者及び交通事業者による取り組み紹介（研修・教育等）・・・希望事業者のみ、質疑応答・・・計70分
- ・当事者による紹介（性的マイノリティ（LGBTQ）について、聴覚障害（聴導犬ユーザー））について・・・計20分
- ・事業者－障害当事者との意見交換（予め双方に意見集約した内容に基づき実施）
（船、航空事業者40分／鉄道、バス、タクシー事業者40分）・・・計80分（40分入替実施）



【第2弾】 11月中旬～下旬 / 11時15分～15時50分 / 関西空港 第1旅客ターミナル



（一部障害当事者には神戸空港棧橋より10時00分発ベイシャトル定期便に乗船していただき、
関西空港棧橋に到着後、バスで第1ターミナルへ移動10時40分着）
⇒プログラム開始 11時15分～（昼休憩12時30分～13時30分）

【体験】〔事業者における参加対象⇒現業に精通されている方2名（内1名は管理職クラス）〕

- ・公共交通バリアフリー乗降体験・・・鉄道、リフト付きリムジンバス、UDタクシー（各15分）、
航空機搭乗20分 移動時間含め 計75分
（船はプログラム開始前に体験しており対象外）
- ・障害者利用時を想定したロールプレイ【到着/出発】・・・各交通事業者と障害当事者で実施 計80分
（補記1 参照）
- ・車椅子体験（介助体験含む）、視覚障害者疑似体験・・・関西エアポート、各交通事業者
対象に実施 各25分 計50分

5. その他：報道機関 取材可能性あり。



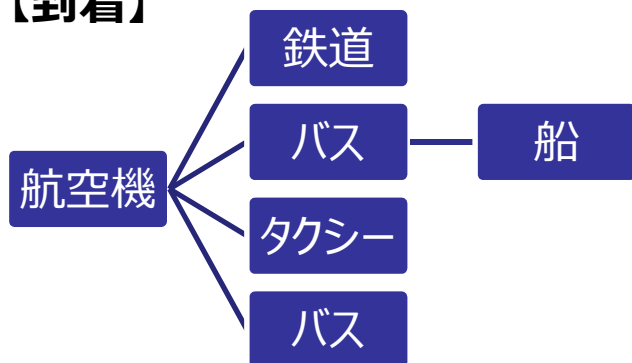
[補記 1] ロールプレイ【所要時間 80分】

▶ 障害当事者利用時を想定したロールプレイ【到着・出発それぞれ設定】
⇒ 各交通事業者係員と障害当事者で実施。



例) 車いすユーザーの場合

【到着】

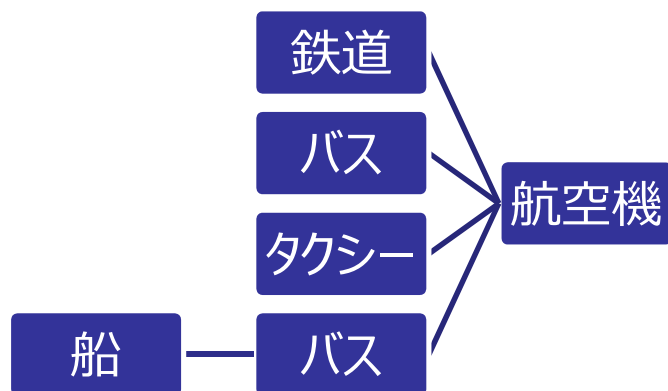


	鉄道	切符購入	改札機通過	ホーム移動	乗降補助	一人当たり
所要時間	3分	3分	3分	3分	3分	約15分
	タクシー	乗降補助	—	—	—	—
所要時間	8分	—	—	—	—	約10分
	バス	切符購入	乗降補助	—	—	—
所要時間	3分	10分	—	—	—	約15分
	船	切符購入	バス乗降補助	船乗降補助	—	—
所要時間	3分	10分	3分	—	—	約15分
	航空機	機内移動	搭乗橋移動	ロビー移動	—	—
所要時間	10分			—	—	約10分

〈ロールプレイ実施にあたっての設定〉

- ・航空機で到着後、各公共交通機関に乗り継ぎまでのプロセスを確認する。
- ・事前アンケートや意見交換会で挙げられる「当事者が交通機関利用時に困る場面」を各障害種別でまとめ、代表的な題目を、ロールプレイとして実施。
- ・【進めるイメージ】航空機が到着し、降機後 各交通機関へ乗り継ぐ。障害者合同で航空事業者係員とロールプレイを実施。以降は各障害別で公共交通機関乗り継ぎ先へ移動、各公共交通事業者とロールプレイを実施。

【出発】



例) 車いすユーザーの場合

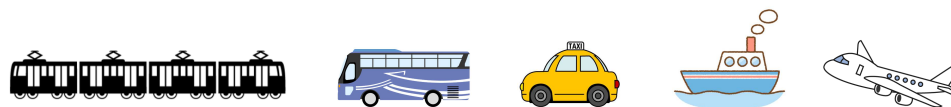
鉄道	乗降補助	ホーム移動	改札機通過	—	一人当たり
所要時間	3分	3分	3分	—	約10分
タクシー	乗降補助	—	—	—	—
所要時間	5分	—	—	—	5分
バス	乗降補助	—	—	—	—
所要時間	10分	—	—	—	10分
船	船乗降補助	バス乗降補助・移動	—	—	—
所要時間	3分	10分	—	—	約15分
航空機	搭乗手続	保安検査移動	搭乗口移動	機内移動	—
所要時間	10分	5分	3分	3分	約20分

〈ロールプレイ実施にあたっての設定〉

・各公共交通機関で空港到着後、航空機に乗り継ぐまでのプロセスを確認する。

・事前アンケートや意見交換会で挙げられる

「当事者が交通機関利用時に困る場面」を各障害種別でまとめ、代表的な題目を、ロールプレイとして実施。



・【進めるイメージ】各公共交通機関で空港到着後に公共交通事業者係員とロールプレイを実施、その後 航空機の搭乗手続カウンターへ移動。障害者合同で航空事業者係員とロールプレイを実施。